

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況およびK P I 実績値の公表について

I. 取組状況

1. 組合員・利用者のみなさまへの最適な金融商品、共済仕組み、サービスのご提供

(1) 金融商品

金融商品（投資信託等）の提供にあたっては、特定の投資運用会社に偏ることなく、運用会社におけるプロダクトガバナンスの取組や社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者のみなさまの多様なニーズにお応えできる商品を選定いたします。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

また、J Aバンク全体として金融商品を購入したお客様の属性の情報について運用会社と相互に情報連携を行い、投資運用会社が想定するお客様の属性に対して適切に販売がなされているかを定期的に確認し、製販全体で組合員・利用者のみなさまの最善の利益の実現を図ります。

【原則2本文および（注）、原則3（注）、原則6本文および（注2、3、6、7）、補充原則1～5および（注）】

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリー	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
R E I T型	1	3
バランス型	7	

<商品選定の考え方>

⑤ コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア（中核）資産」と攻めの「サテライト（衛星）資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>



⑤ JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、

JAバンクが独自の基準で

長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

1	長期投資	長期投資を前提とした投資信託であること
2	手数料	手数料が良心的な水準であること
3	運用実績	過去の運用実績が相対的に良好であること
4	将来性	資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
5	運用体制	運用体制について、外部機関の評価を得ていること

(2) 共済仕組み・サービス

当組合は、組合員・利用者みなさまが、生活や農業を取り巻くさまざまなリスクに対して、安心して備えられるよう、最適な共済仕組み・サービスを提供します。

なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施していません。

【原則2本文および（注）、原則3（注）、原則6本文および（注2、3、6、7）、補充原則1～5および（注）】

万一の備え

●一生にわたって備えられる万全保障

「終身共済」

●貯蓄しながら備えられる万全保障

「養老生命共済」

●お手軽な共済掛金でライフステージに応じた必要十分な万全保障をしっかりと準備

定期生命共済(通減期間設定型)
「みちびき」

医療・がんの備え

●日帰り入院からまとまった一時金が受け取れる充実の医療保障

医療共済
「メディフル」

●「生きる」を応援する充実のがん保障

「がん共済」

三大疾病などの備え

●身近な生活習慣病のリスクに備える保障

特定重篤疾病共済
「身近なリスクにそなエール」

就労不能の備え

●働けなくなるリスクに備えられる安心の保障

生活障害共済
「働くわたしのささエール」

介護・認知症の備え

●一生にわたって備えられる介護保障

「介護共済」

●一生にわたって備えられる認知症の保障

「認知症共済」

老後の備え

●自分で準備する将来の年金保障

予定利率変動型年金共済
「ライフロード」

学資の備え

●お子さま・お孫さまの教育資金の備えと万全保障

こども共済
「学資応援隊」

●火災はもちろん地震にも備えられる建物・家財の保障

建物更生共済
「むてきプラス」
「My家財プラス」

●お車の事故による賠償やご自身とご家族のケガ、修理に備える

自動車共済
「クルママスター」

●農業において発生するさまざまな賠償リスクを幅広く保障

農業者賠償責任共済
「ファーマスト」

2. 組合員・利用者本位のご提案と情報提供

(1) 信用事業活動

- ① 金融知識・経験・財産・ニーズに合わせて、組合員・利用者みなさまの資産運用にふさわしい商品・サービスをご提案いたします。また、資産運用以外にも相続・遺言等、お客様の目的やご相談内容に応じて、特定の商品に偏ることなく幅広い商品・サービスをご提案いたします。

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ② 組合員・利用者みなさまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性等の重要な事項についてわかりやすくご説明するとともに、必要な情報について当組合ホームページでの開示と併せて十分にご提供いたします。

特に、75歳以上の組合員・利用者みなさまに対しては、役席者の同席や適合性判定により理解度を十分に確認しながら丁寧でわかりやすい説明を実施いたします。

【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1～7)】

- ③ 組合員・利用者みなさまにご負担いただく手数料について、お客様の投資判断に資するよう丁寧でわかりやすい説明に努めます

【原則4、原則5本文(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ④ 販売後においても、財産の状況・投資目的・リスク許容度の変更有無を確認するとともに、各種情報提供により丁寧なアフターフォローを実施いたします。

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1～7)】

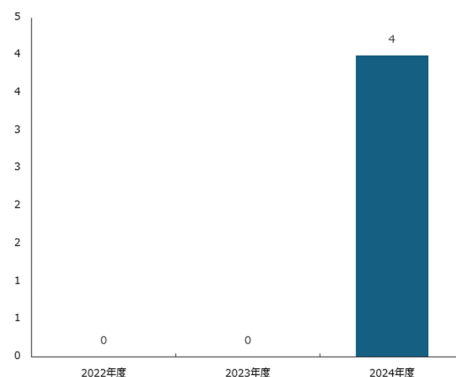
・投信を取扱いはじめ6ヶ月が経過。支店から専門部署である金融課へのトスアップを行い、金融課が詳細説明から契約までを行っています。

組合員・利用者みなさまの金融知識・経験・財産状況、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、長期的な運用およびNISAつみたて投資枠を活用した資産形成を提案した結果、契約に結び付いています。

また、ご高齢のお客様に対しては役席者の同席や適合性判定により理解度を十分に確認しながら丁寧でわかりやすい説明を心がけています。

<投信つみたて契約件数(2025年3月末時点)>

<投信つみたて契約件数の推移>



① 組合員・利用者みなさまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、一人ひとりの加入目的・収入・資産・家族構成・ライフプラン等に応じた最適な保障・サービスをご提案します。

② 保障の加入にあたっては、組合員・利用者みなさまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう丁寧でわかりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施いたします。

[illegible]

令和7年4月

生命総合共済

重要事項説明書 注意喚起情報



ご契約の前に必ずお読みください

この重要事項説明書(注意喚起情報)は、ご契約に際してご契約者によって不利益となる事項を、特に^①にご留意いただきたい事項を記載しています。ご契約の前に必ずお読みください。

また、内容を正確にご理解いただくため、お知らせいたします。

本説明書はご契約に関するすべての内容に記載しているものではありません。詳細については「ご契約の申し込み書」に記載の内容等と併せて、ご契約内容等に關する重要な事項について特にご留意いただくべき事項は「重要事項説明書(契約概要)」に記載しておりますので、あわせてご確認ください。大切に保管してください。

なお、ご契約の申し込み書について、有効な署名をご提供いただいた場合は、JA共済ホームページよりご確認ください。

 **JA共済**

③ 特にご高齢の組合員・利用者みなさまに対しては、より丁寧に関わりやすくご説明し、ご親族も含めて十分ご納得・ご満足いただけるよう、ご契約時にはご親族の同席等を徹底するなどきめ細やかな対応を行います。

◇ご高齢者対応の対象（共済種類：生命総合共済・建物更生共済）
ペーパーレス手続き：69歳10か月以上（申込日時点）
書面手続き：70歳以上（契約日時点）

【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

④ 保障のご加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者みなさまにご負担いただく手数料等はございません。【原則 4】

⑤ 各種手続きの実施にあたっては組合員・利用者みなさまにわかりやすいご説明を心がけるとともに、共済金・給付金等を確実にお支払することはもとより、日々の接点を通じてより安心いただける共済金等の請求勧奨を実施いたします。

また、生命総合共済の場合、将来ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理人請求人」にご家族をご指定いただくことをご案内しております。

令和 5 年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者みなさまの利便性向上に向けて取り組んでおります。

【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文及び（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】



共済金請求のご案内



共済金請求のご案内

⑥ 3Q 活動等によるフォロー活動

ご加入いただいた後も「3Q 活動」を通じて組合員・利用者みなさまの近況確認や現在のご契約内容の説明を行っています。同時に「安心チェック」を行い保障の点検も行っております。

◇ 3Q 活動とは？

組合員・利用者みなさまに「感謝の気持ち（サンキュー）」をお伝えし、3つの質問を通じて近況や共済金等の請求漏れの確認を行っております。

◇ 3つの質問（3Question）とは？

Q1. ひとの保障にご請求忘れがないかの確認

Q2. いえの保障にご請求忘れがないかの確認

Q3. 家族構成や生活環境などご家族におかわりがないかの確認

3. 利益相反の適切な管理

商品選定、保障提案にかかる情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、組合員・利用者みなさまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき営業部門ではない統括部書が適切に管理いたします。

【原則 3 本文および（注）】

4. 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材育成と体制の構築

組合員・利用者みなさまに満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、資産形成・資産運用にかかる継続的・定期的な研修等の実施を通じて、相談力向上に向けた人材育成を行うことで、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築いたします。

<内部研修・資格制度>

- ・証券外務員資格再研修（対象：信用担当職員）
- ・ライフアドバイザー認証要件研修（対象：共済担当職員）
- ・公的保証研修（対象：共済担当職員）
- ・共済契約税務研修（対象者：共済担当職員） 等

<取得を推奨する外部資格>

- ・証券外務員 1 種・2 種（対象：信用担当職員）
- ・内部管理責任者試験（対象：全管理職）
- ・FP 2 級技能士（対象：信用または共済担当職員） 等

また、組合員・利用者みなさまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、業務改善に努めます。

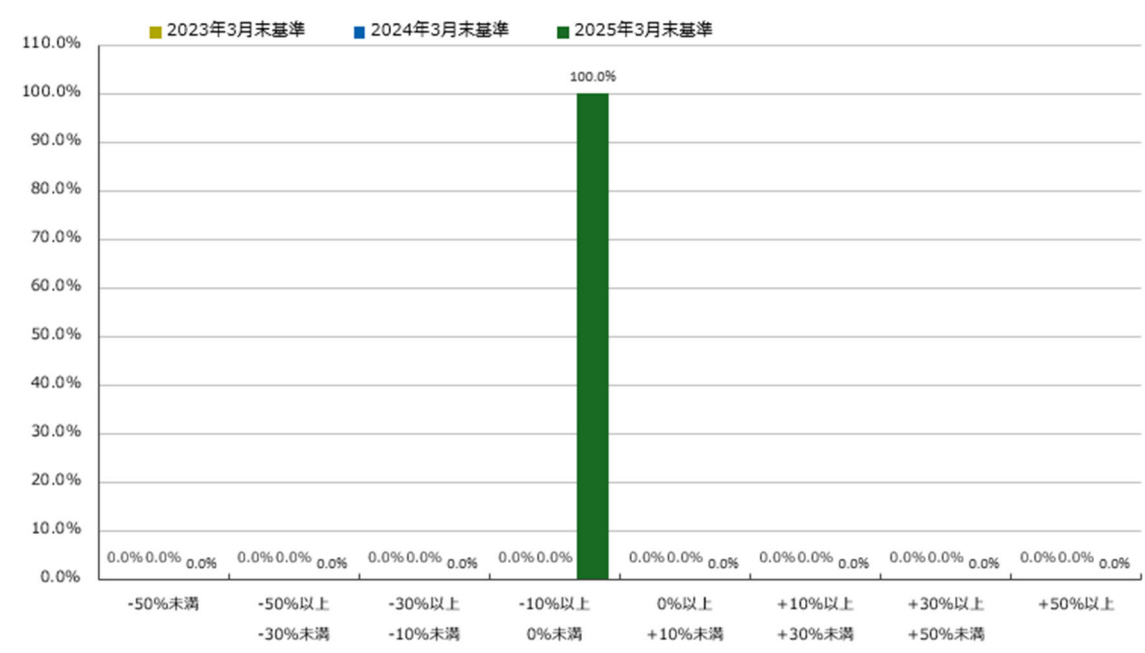
【原則 2 本文（注）、原則 6（注 5）、原則 7 本文および（注）】

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1. 信用事業

①運用損益別顧客比率（投資信託）

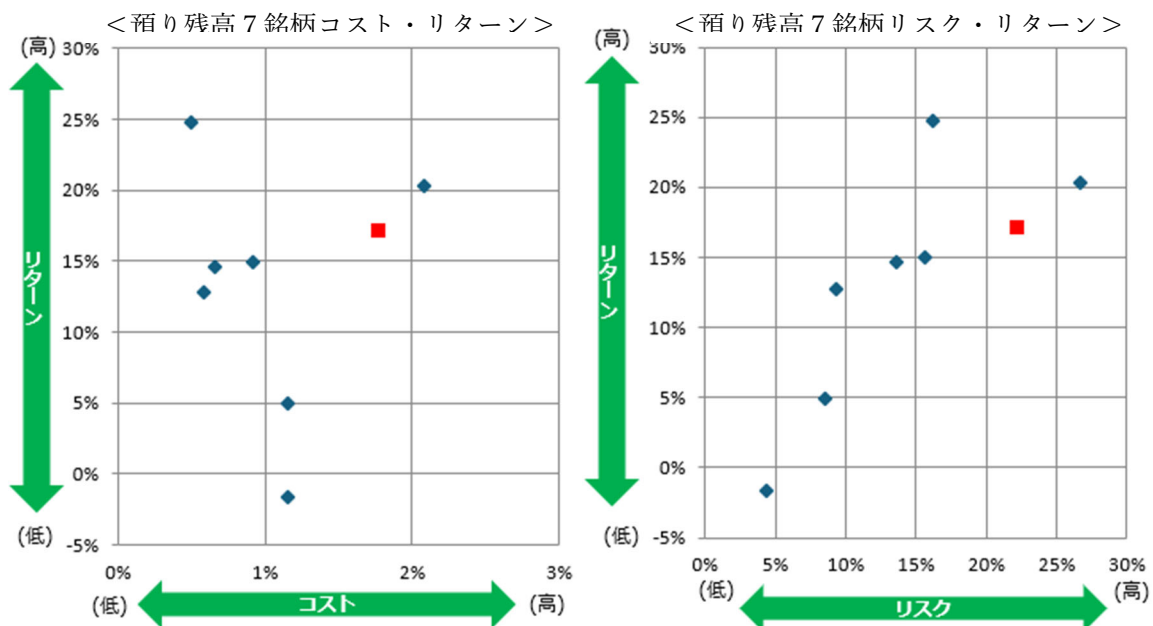
・組合員・利用者のみなさまへの長期・分散投資やつみたて投資をご提案しています。
運用開始から日が浅いことや市場の動向により損益がプラスのお客さまはありません
でした。



②投資信託預り残高のコスト・リターン/リスクリターン

J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定・世界情勢の動向を鑑みた提案をしています。

2025年3月末時点の預り残高の平均コスト 1.78%、平均リスク 22.29%に対して、平均リターンは 17.06%でした。



③預かり残高7銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
2	日米6資産分散ファンド*(安走運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
3	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金パリュエインベストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
5	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
6	日米6資産分散ファンド*(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
	残高7銘柄の残高合計/残高加重平均値		17.06%	22.29%	1.78%

※2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は7本となります。

※当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

※金融庁の要請により、実績のある先は3か年分を掲載することとなっておりますが、2024年10月投信取扱開始となっておりますので2025年3月末基準のみの掲載となります。

2.共済事業

J A 共済利用者満足度調査結果（総合満足度）を組合員・利用者本位に関する指標と位置付けています。令和 6 年度の総合満足度は 9 8 . 0 % となり非常に高い水準を確保しています。